

整備前と整備後の図書館

<整備前>



<整備後>

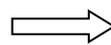


入り口の戸が変わりました。

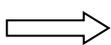
掲示用のコルクボードを作り、取り付けました。

柱がピンクに塗り替えられ、ここにも、
掲示用のコルクボードを取り付けました。

畳のコーナーの壁も、ピンク
に塗り替えました。



入り口の柱もピンクに
塗り替えました。



この柱もピンクに塗り
替えました。

背面もピンクに塗り替え、ラティスの掲示板を貼りやすいコルクのボードに取り替えました。



これも、掲示用のコルクボードです。背面のものとは少し違って、額を付けています。

前面もきれいにピンクで塗りました。新しくコルクボードの掲示板も取り付けました。



このように、図書館がより明るくきれいになりました。夏休みを使って、教職員総出でそれぞれの特技を生かして、協力して作業しました。それでは、どのように整備したのかを紹介します。

<作業風景>

☆まず、ペンキを塗るための準備をしました。

換気扇を外して、隅々までペンキが塗れるようにしています。

大切な本が汚れないように、しっかりカバーをかけたり、ペンキがつきやすいように下塗りをしています。



☆壁塗りです。脚立を使ったり座り込んだりして、上から下まで満遍なく塗って行きました。



図書館の入り口付近です。
柱や壁を塗っています。



この壁は色がつきにくく、塗りかかったです。

カウンター横の柱を塗り中。



この姿勢は、辛かったです。



塗っていて腰にきました。

無理がたたって、熱中症になってしまいました。(校長談)



校庭側の壁も、塗って行きました。



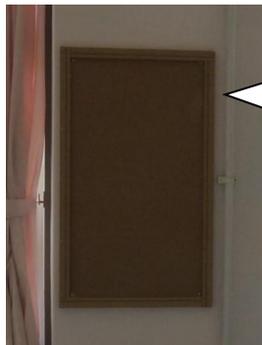
これは、書架の奥に入れる発泡スチロールを切っているところです。これで、本がよく見えて分かりやすくなります。

☆掲示用のコルクボードを作りました。ベニヤ板の上にコルクを貼り付け、額を付けました。

掲示用のコルクボードは、この二名が中心となって作製しました。エアコンもない廊下で、黙々と作業に取り組みました。



このような額付のコルクボードが、図書館に合計7つできました。



このように、安心してポスター等が貼れるようになりました。

☆書架の奥に入れる発泡スチロールを作りました。

計算の得意なM先生に、書架の寸法と本のサイズから、どんな大きさの発泡スチロールがいくつ必要なのか、割り出してもらいました。



みんなが、M先生の指示を聞いて、鉛筆でスタイロ量にサイズを書き込んでいきました。



のこぎりを使うのが得意な方の登場です。たくさんの発泡スチロールをどんどん切ってもらいました。



スタイロ量を切って、作ります。大きいので、のこぎりで切っていました。

切った発泡スチロールに、ボンドで布を貼っているところです。絵本の書架に入れる発泡スチロールは、細長いので、布を貼り付けて明るくしました。

絵本以外の本については、赤・青・黄色のガムテープを切り口に貼り付けて本に発泡スチロールのかすがつかないようにしました。



このように発泡スチロールを入れたら、ぐっと本が前に出て見やすくなりました。



絵本の書架には、このように入っています。